

# さらなる成長に向けた取り組みについて

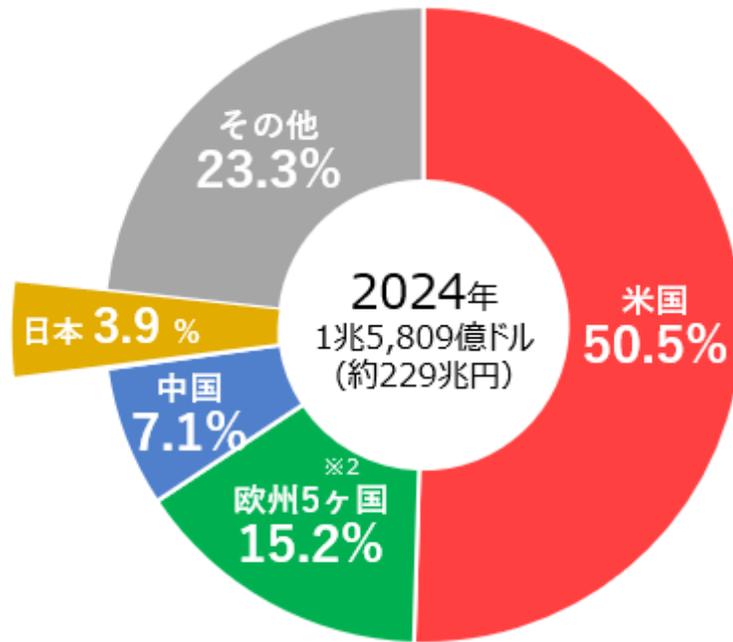
2025年6月19日

# オプジーボクリフ（特許切れ）の影響

剤形	グローバル（BMS社）	国内（当社）
点滴静注	<p><b><u>特許満了</u></b> 米国：2028年、欧州：2030年 ⇒ <b>段階的にロイヤルティ収入減少</b></p>	<p><b><u>特許満了</u></b> 日本：2031年 ⇒ <b>国内売上減少</b></p>
皮下注	<p>米国：上市済、欧州：承認済 ⇒ <b>10年間のロイヤルティ収入</b></p>	<p>フェーズⅠ 試験実施中</p>

# 海外展開の意義

## 地域別売上シェア※1



## 地域別売上シェア（国内比）

米国：10倍以上

欧州：3倍以上

市場規模の大きな欧米市場において、複数製品を自販してくことで、  
オプジーボクリフを乗り越え、さらなる成長を実現していく

※1. 出典：「IQVIA Analytics Link（2024年）」をもとに自社集計、著作権：Copyright © 2025 IQVIA.無断転載禁止

※1. 為替：1ドル=145円で換算

※2. 欧州5ヶ国：ドイツ、フランス、イギリス、イタリア、スペイン

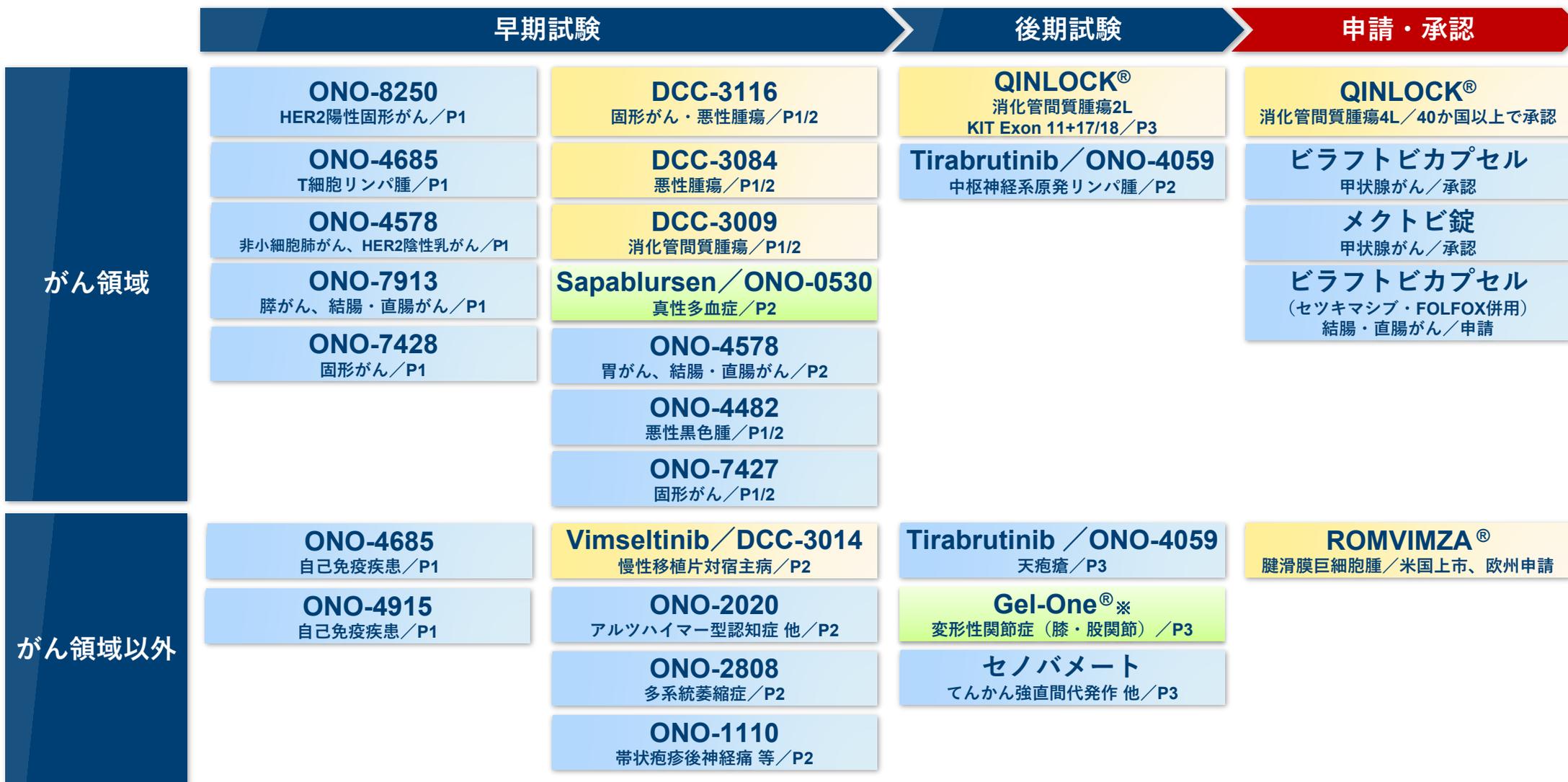
# デサイフェラ社を軸とした海外展開の強化

2025年7月米欧の開発・販売事業をデサイフェラに統合  
デサイフェラ社を中心としてグローバル展開を推進・加速する



# 開発パイプライン (オプジーボを除く)

2025年6月19日現在



小野薬品
デサイフェラ
新規導入

※「Gel-One」については基本契約合意

# この1年間の主な進捗（開発パイプライン）

- デサイフェラ社にて、キンロックに続き、ロンビムザ上市



- チラブルチニブ（国内製品名：ベレキシブル）26年米国上市予定

- Sapablursen（真性多血症：フェーズII）導入

- Gel-One®（変形性関節症：フェーズIII）導入（基本契約合意）

- セノバメート（てんかん部分発作 他：フェーズIII）25年申請予定

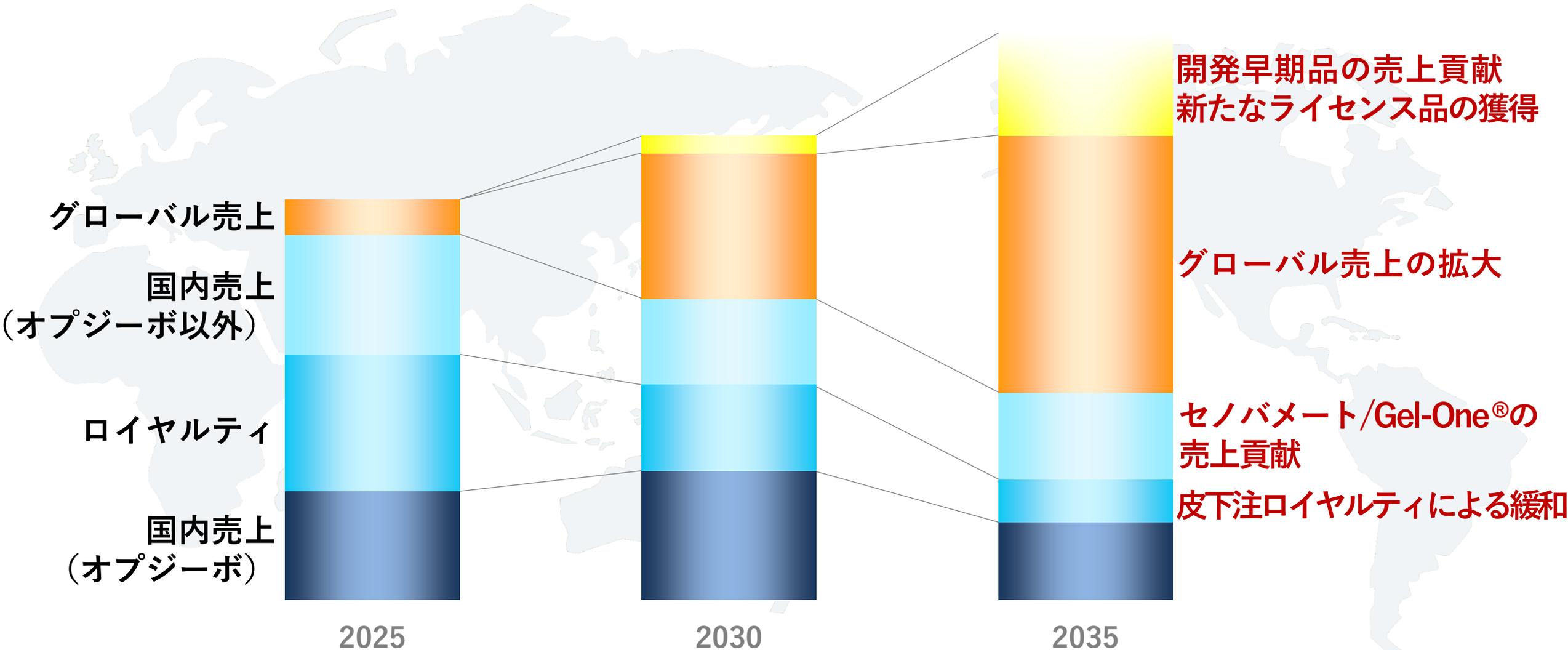
グローバル自販は、キンロック・ロンビムザ・ベレキシブルの3製品からスタートし、今後、グローバル製品の拡充と共に、国内製品も充実させていく

# 今後期待の製品候補



開発コード	薬理作用	予定効能	地域	開発ステージ
ONO-4578	PG受容体 (EP4) 拮抗作用	胃がん (オプジーボ併用)	日韓台	フェーズII
		結腸・直腸がん (オプジーボ併用)	日米欧	フェーズII
ONO-4685	PD-1 x CD3二重特異性抗体	T細胞リンパ腫	日米	フェーズI
ONO-2808	S1P5受容体作動作用	多系統萎縮症	日米	フェーズII
ONO-0530 (Sapablursen)	TMPRSS6遺伝子発現阻害作用	真性多血症	米欧豪	フェーズII
DCC-3014 (Vimseltinib)	CSF-1受容体阻害作用	慢性移植片対宿主病 (cGVHD)	米国	フェーズII
ONO-2020	エピジェネティクス制御作用	アルツハイマー型認知症	日米	フェーズII
		アルツハイマー型認知症に伴うアジテーション	日本	フェーズII
ONO-1110	内因性カンナビノイド制御作用	帯状疱疹後神経痛、線維筋痛症、うつ病、ハンナ型間質性膀胱炎、社交不安症	日本	フェーズII

# 今後10年の成長イメージ



※イメージ図、各製品の実際の売り上げを表しているわけではありません

 **小野薬品工業株式会社**

Dedicated to the Fight against Disease and Pain